

参考資料

皮膚科専門医が、夏の「ワキの汗とニオイ」の疑問に答えるQ&A

イデリアスキンクリニック代官山 院長 千葉 真美が回答します

<プロフィール>

2001年 昭和大学医学部卒
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
2008年～ イデリア スキンクリニック代官山勤務
2009年～ 院長に就任
2012年～ 1月 長女出産
4月に復帰し、活躍中

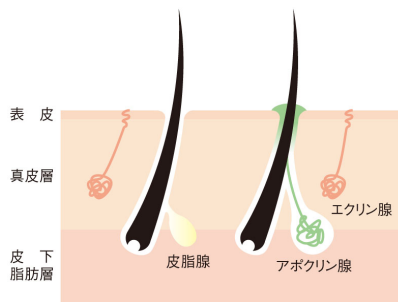


Q1: ワキの汗をそのままにしておくと、どうなりますか？

院長: ワキの汗そのものにはニオイがないのですが、そのままにしておくと酸化し、雑菌が増え、ニオイの原因となります。特に汗をかきやすい夏はニオイが気になりやすくなると言えます。

Q2: 多汗症とワキガの違いは？

院長: 一般的にワキガは病名ではなく、ワキの汗が放つニオイのことです。多汗症はニオイが比較的しにくい症状です。ワキの下は「アポクリン腺」、「エクリン腺」、「皮脂腺」の3つの分泌線があります。ワキガの原因は「アポクリン腺」で、汗の成分が細菌によって分解されたときに独特の臭いを発します。多汗症は、汗の分泌量が多く、汗が出るようなことをしていないのに多量に汗をかきます。いずれも、患者様ご自身で気にされて来院することが多い症状です。汗によりファッションが楽しめないという方や、接客業や営業の方など、仕事で支障をきたすことから来院される方もいらっしゃいます。



肌断面図イメージ

ワキの汗のセルフチェック

- 衣服のワキの汗ジミの色が黄色で濃く、取れない
- 自分のニオイが気になり、いつも香水をつけている
- 汗のニオイが鼻にツンとくるときがある
- 緊張すると汗をかきやすい
- 他人からニオイを指摘されたことがある
- 脂分の多い食事を好む

3つ以上チェックがついたら、一度、美容皮膚科に相談しましょう。

Q3: ワキの汗は洋服のシミになりやすい気がしますが、色が着いているのでしょうか？

院長: アポクリン腺には「リポフスチン」という色素を含んでおり、ニオイが強くなると、この色素成分も多く分泌されることになり「黄ばみ」の原因となります。

Q4: 「ワキの汗」の治療法と対策を教えてください。

院長: 汗をかいたままにしておくと雑菌が増える可能性があるため、日常の対策としてはタオル等ですぐにふき取るといったことがおススメです。しかし、夏の暑い時期に汗を抑制するのは難しく、仕事柄、適宜ケアすることが難しい方もいらっしゃいます。そこで、イデリア スキンクリニック代官山では、「ボトックス」での治療をお勧めしております。